



12月14日(水)

2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



私たちが変える未来の気候

世界最大の民間の気象情報会社「ウェザーニューズ」と毎日新聞社による「#地球塾2050」が12月14日、千葉市美浜区の幕張テクノガーデンにあるウェザーニューズ本社で開かれました。芝浦工業大学柏中学高等学校の中高生計24人が参加し、気象情報と「みんなで作る天気予報」の重要さを学びました。

サポーターが支える

天気予報

ウェザーリポーターとサポーターが天気予報で大切な存在であることに驚きました。「国民が天気予報をつくる」という話を聞いて、私もサポーターとして参加したいと思いました。毎日のように天気の情報を送っている方がいると知って、私たちは彼らによって支えられていたのだなど実感しました。気象については元々、あまり興味がありませんでしたが、地球塾で話を聞いて、天気ニュースから受ける「深み」が変わったような気がします。今回の話をきっかけに、私が気象関係の仕事に就くかもしれないし、そうでないとしても、自分の将来に生かせたらなと思います。

【加藤笑佳】

私たちが変える

50年後の天気

「地球温暖化を皆で止めよう」。この言葉を耳にするたび、どこか腑に落ちない自分がいました。人間は地球に比

べて、ひどくちっぽけで若すぎるからです。ただ、今回の地球塾で「人間はこれまで地球に負の影響を与えてきたけれど、その分、正の影響も与えられるはずだ」という言葉を聞いて、考え方は変わりました。未来の温暖化も、大災害も、今の私たちの手で少なからず変化する、いや、変化させることができます。地球の未来を担う世代として「いま自分にできること」を見つめていきたいです。

【近藤悠衣】

世界の役に立つ仕事

ウェザーニューズで話を聞いて、知ったことが二つあります。一つ目は、ウェザーニューズは世界の交通機関や貿易機関などに日々、事故の無いように気象情報を提供していることです。僕も世界の役に立つ仕事ができるように英語の勉強を頑張っていきたいです。二つ目は、民間人と協力して天気予報を作っていることです。民間人の提供する写真から、その場の状況を分

析して、より精密な予報にしていく。その協力していく姿を素晴らしいと思いました。

【阿部瑛斗】

今は特別でも

将来は当たり前前に

地球塾の講義で、世界最先端の技術、取り組みを見て、聞いて、知らなかったことを多く知ることができました。学んだことをそれだけで終わりにせず、自分の未来につながる必要があります。写真のシェアや予測などのたくさん取り組みを、広く当たり前前に使われるようにすることが



大事だと思っています。限られた人だけが知っている状態にするのではなく、多くの人が情報を共有することで、人々の暮らしはより平和になっていくと思います。【須波優斗】

【ユーザーと連携

活用の大切さ

ウェザーニューズが民間の方と連携した気象予報システムを作っていることが、特に印象に残りました。そのシステムは、ウェザーニューズ提

供のアプリを通じて、その場の気象状況などをユーザーに写真付きで送ってもらいます。これを用いることで、ゲリラ豪雨の発生を予測できるようなったりします。私は、民間の方の情報を使って気象予報を作ることや、実際に正確な予報を立てられるというのが意外でした。しかし将来、突発的な豪雨などが増える可能性もあり、こうした全国のユーザーの力を借りることは、むしろ大切なかもしれないと感じました。このサービスをより多くのユーザーが使うために、ゲームのようなものにする一方で、若い世代にも魅力を感じてもらい、多くの世代の人が楽しめるシステムにしたら面白いのではないかと思います。

【中尾凌】

未来を作る仕事

ウェザーニュースの受信者である私たちと協力して作る天気予報には、さまざまな工夫が施されていて素晴らしいと思いました。例えば、気圧から私たちに及ぼす頭痛などの症状の予報や、電力の使用割合の予報などがありました。また、最先端の技術を用いて、減災を目指したり、現在地球で起こっている気候変動や温暖化の削減にも取り組んだりしていて素晴らしいと思いました。世界で活躍するウェザーニューズのように、未来を作る仕事をしたいと強く感じました。【井上美祐】